

【品質管理（基礎）】

「品質」は、常に優先順位の高い条件として挙げられております。また、関わる人々の意識や行動によって大きく影響されるとも言われております。

本セミナーでは、我が国の品質管理の特性、小集団活動のポイントと利点、各工程の品質管理のポイントを理解していただきます。QC 7つ道具について、演習を交えて習得し今後の問題解決に役立てていただきます。

開催日時 A日程 2023年 5月23日(火)～24日(水)
 B日程 2023年 11月 7日(火)～ 8日(水)
 講師 技術コンサルタント 伊東 龍興氏
 受講料 各24,000円(テキスト代・昼食代・消費税込)
 対象者 品質管理を基礎から学びたい方、現場スタッフ等
 会場 (株)久喜菖蒲工業団地管理センター 研修室
 開催時間 開始 9:30～ 終了 16:30 休憩 11:50～12:50
 申込期限 開催日の1週間前までにお申し込みください。(各コース定員20名)

- 1日目
 1. 品質管理の歴史
 2. TQMにおける仕事の進め方の基本
 方針管理 日常管理 問題解決
 3. 品質管理のポイント
 協力工場との連携 製造現場の管理
 4. 小集団活動
 小集団活動は仕事そのもの
 職制の役割
 5. QC 7つ道具
 層別[演習] パレート図[演習] 特性要因図
 チェックシート ヒストグラム 散布図[演習]

- 2日目
 5. QC 7つ道具(続き)
 管理図・グラフ[演習]
 [グループ演習] 要因分析・要因解析・対策の検討・発表
- | 名称 | 図 | 内容 | 名称 | 図 | 内容 |
|-------|---|--|-------|---|--|
| 特性要因図 | | 結果・特性に影響を与えていると考えられる各原因(要因)を体系的に提示し、それらの相互関係を把握するために利用。フィッシュボーン図(魚骨図)ともいう。 | パレート図 | | データを項目別に出現頻度の降順に配置し、それに累積率を組み合わせることで重点管理すべき項目の決定を行う。ABC分析に利用される。 |
| 散布図 | | 統計的データをいくつかのクラス(組)に分け、それぞれに含まれるデータの頻度(出現した回数)の表形式を配置し、データの分布状態を分析する。 | 管理図 | | 性能や機能、品質、故障率などの統計データをばらばらに観察することによって、原因を分析し問題点を発見する。 |
| 層別 | | 収集したデータについて、縦軸と横軸で示されるデータの範囲における相互の関係性(相関関係)の有無やワキの度合いなどによってデータの傾向を分析する。 | 推移図 | | 期待値を設定し、現実値がどの程度か離れているかを時系列的に図示することで、工程に何らの異常が発生しているかどうかを判断する。 |

- 参加者の感想
- ・ グループワークにて、テーマに対する対策を考えることができ、貴重な体験となりました。
 - ・ QCの事がよく理解できた。グラフやグループでの活動も良かったです。
 - ・ 大変わかりやすく、またグループ演習で他の受講者ともコミュニケーションが取れる良い機会でした。ありがとうございました。
 - ・ とてもわかりやすく、話し合いなどの時間も、確実に身につく内容でした。

受講申込書 FAX : 0480-23-5300 E-mail : hasegawa@kukishobu-ipwc.co.jp

会社名				担当者	
住所				TEL	
E-mail				※請求書・受講のご案内を メール受領について <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	
氏名	フリガナ	年齢	所属役職	申込コースの□に✓して下さい	
				<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)
				<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)
				<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)
問い合わせ 株式会社 久喜菖蒲工業団地管理センター 担当 長谷川 TEL : 0480-22-8911 FAX:0480-23-5300 mail:hasegawa@kukishobu-ipwc.co.jp					